

短編映像作品『A Cold Night』

—シネマグラフとカメラマッピングを組み合わせた映像表現—

Short Movie “A Cold Night” – A Video Representation Combined “Cinemagraph” With “Camera Mapping”

森永雅人 MORINAGA Masato 2014年入学 | 画像設計学科 Department of Visual Communication Design

分類: 卒業研究 作品
作品/論文: 作品
制作年度: 2017年度
課題概要: 映像



図1 シーン1カット4より。本作品の主人公。



図2 シーン2カット1より。階段を降りる主人公。右の人物シルエットは静止している。



図3 シーン3カット3より。左の人物は静止しており、煙草から出る煙のみ動き続けている。



図4 シーン4カット1より。噴水の水以外は静止しており、引きのカメラワークが付いている。



図5 シーン4カット2より。フレーム右側のLED電球や旗のみが動いており、寄りのカメラワークが付いている。



図6 シーン4カット3より。クリスマスツリーの電球のみが動いており、寄りのカメラワークが付いている。



図7 シーン5カット6より。回想シーン。木の揺れ以外は静止しており、寄りのカメラワークが付いている。

本作品は、映像表現技法の1つであるシネマグラフを、同じく映像表現技法であるカメラマッピングと組み合わせることで新規性のある映像表現を作り、この映像表現を演出として用いた短編映像『A Cold Night』である。上映時間は4分49秒で、動画は23.976fps、フルHDサイズで作成した。

ストーリーは、時間が止まってしまったものと動き続けるものが混在した世界に生きる男の、終わらない一夜を描いたものとなっている。この世界観を表現するために、シネマグラフ技法を用いた。また、シネマグラフを用いたカットが連続するシーンでは鑑賞者に退屈さを感じさせないようにするために、カメラマッピングの効果を加えてカットごとに見応えが出るようにした。

シネマグラフで定番化しているループ構造にならない、本作品は映像の最初と最後がシームレスに繋がるような構成になっている。これは、終わらない夜という世界観を強調するのに加え、この作品そのものがシネマグラフでもあるという側面を持たせる。